

伊丹市の一般廃棄物処理に 関する基本情報

令和5(2023)年7月

伊丹市 市民自治部 まちづくり室
減量推進課

本市の家庭系ごみの収集の流れ

一般の家庭から出されるごみ「家庭系ごみ」と言います。

ステーション方式



市内：約6,800か所

ごみ袋は無色透明・白色半透明袋かつ45ℓ以下（スーパー・コンビニ袋利用可能）/無記名



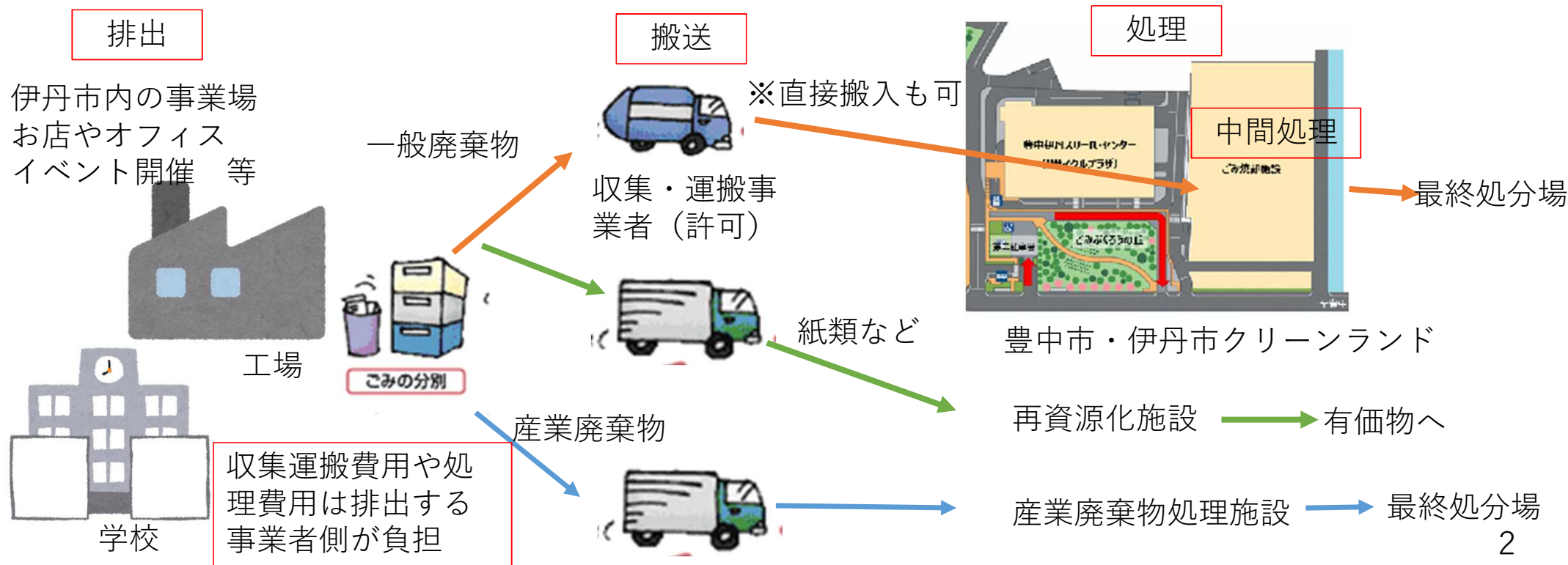
豊中市・伊丹市クリーンランド

収集運搬委託料や、
処理費用については、
市が負担

本市の事業系ごみの収集の流れ

(自己処理しない場合)

一般の家庭から出されるごみと区別して、会社やお店などから出る事業活動に伴って生じた廃棄物（ごみ）のことを「事業系ごみ」と言います。



本市のごみの収集方法

種別			回数	排出方法	その他
家庭系	燃やすごみ	委託	2回/週	無色透明・白色半透明45ℓ以下袋	ステーション方式（無記名）
	燃やさないごみ				
	プラ容器包装				
	ペットボトル		1回/週	PB回収ネット袋	ステーション方式・収集後ごみステーションごとに片付け・保管
	びん			収集コンテナ	
	その他資源物 （缶・古紙・古布）			無色透明・白色半透明45ℓ以下袋・ひもで束ねる・紙袋（雑多な紙）	
	粗大ごみ		事前申込・収集日に排出して立会の上、現金で手数料支払い		
臨時ごみ	許可	随時	指定なし		
事業系ごみ					

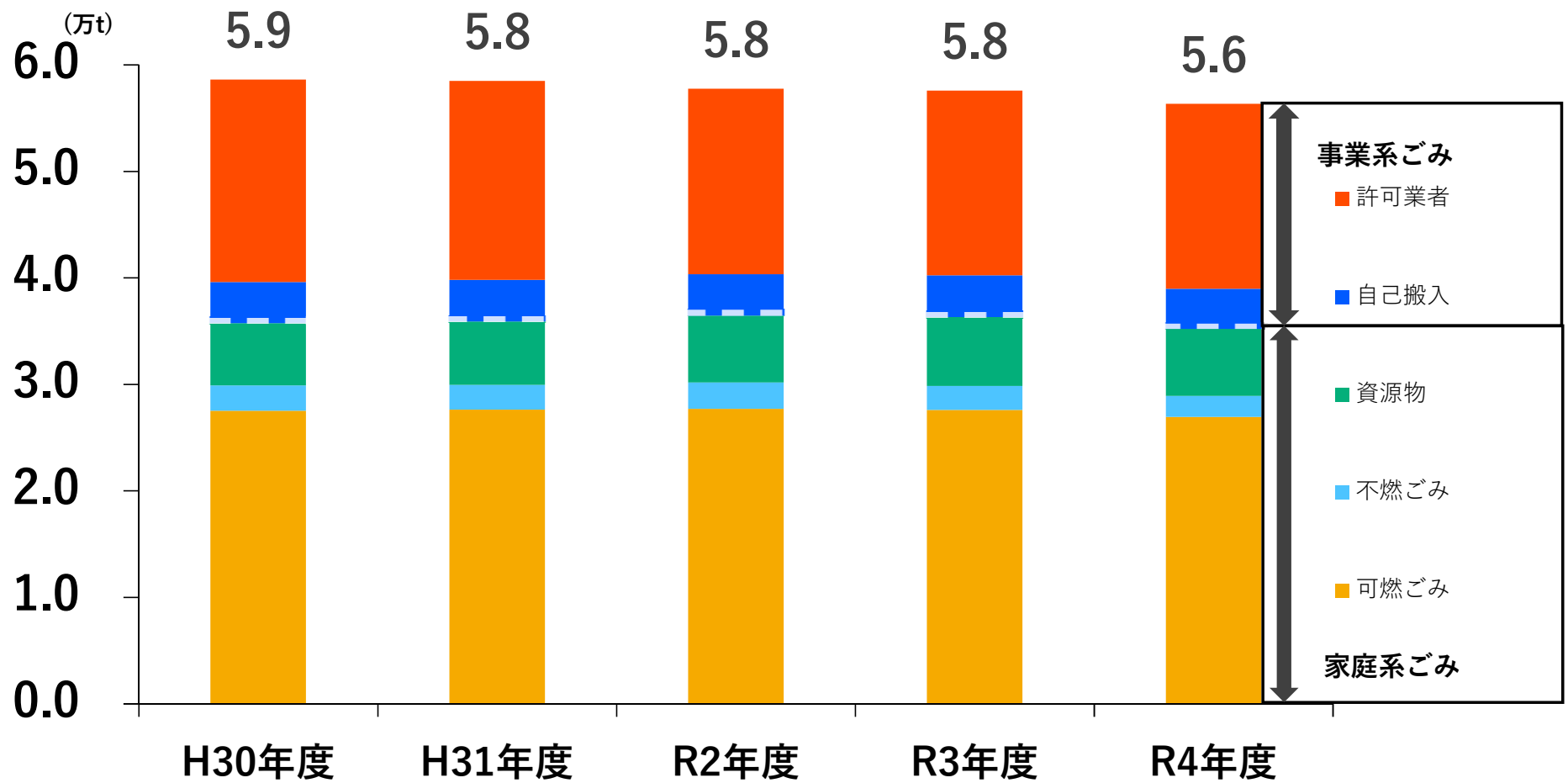
本市の家庭系ごみの収集方法

種別			回数	排出方法	その他
拠点 回収	廃食用油	直営	1回/週	拠点持込	市内各拠点で職員待機
	カセットボンベ				
	フードドライブ				
	ライター・スプレー 缶・刃物・電池類				
小型家電	回収 ボックス		随時	持込	設置施設の開場時間内
水銀使用廃製品					

本市のごみの排出状況

- 本市がクリーンランドに持ち込むごみのうち、全体の約70%を家庭系ごみ、約30%が事業系ごみです。
- 前期計画期間の間、基準年の実績と比較した家庭系ごみの削減率は8.5%で、事業系ごみの削減率は10.4%でした。
- 全体的なごみ量はゆるやかに減少しています。
- 家庭系ごみの内訳をみると、減少の仕方が顕著だったのは資源ごみです。減少の主な理由はライフスタイルの変化により新聞・雑誌の購読量が減少した影響によるものと考えられます。

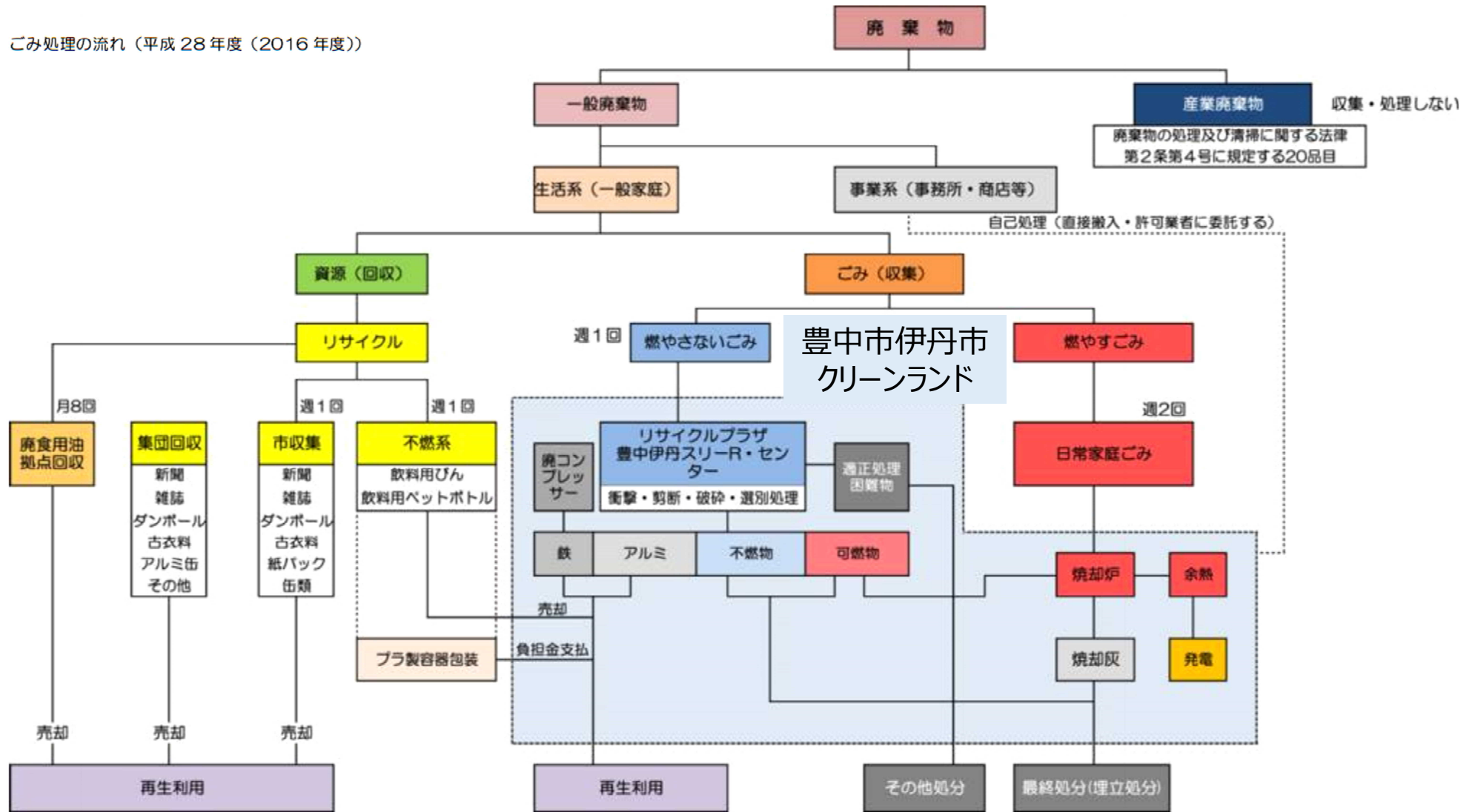
本市のごみの排出状況



ごみ処理の流れ

- 伊丹市の家庭から排出される廃棄物は、燃やすごみ、燃やさないごみ、資源ごみの3種類に分けて収集運搬され、中間施設である豊中市伊丹市クリーンランドにおいて適正な処理を行っています。
- 資源ごみは、缶・びん・古布・古紙、ペットボトル、プラスチック製容器包装などさらに細かく分け、可能な限り再生利用できるように分別収集しています。
- 事業所（事務所・飲食店等）から排出されるごみのうち燃やすごみは、一般廃棄物として収集運搬・処理されています。

ごみ処理の流れ（平成 28 年度（2016 年度））



近隣他都市とのごみ処理状況の比較

■ 近隣自治体と本市の比較

	総ごみ排出量 (g/人日)	家庭系ごみ 排出量 (g/人日)	事業系ごみ 排出量 (g/人日)	資源化量 (g/人日)	リサイクル率
伊丹市 (平成29)	851	547	304	150	17.3%
伊丹市 (令和3)	836 (1位)	548 (1位)	288 (6位)	149 (3位)	17.8% (3位)
近隣6市 (令和3) 平均	881	625	256	153	17.1%

近隣6市⇒芦屋市・尼崎市・川西市・三田市・宝塚市・西宮市

他自治体と比較した本市の状況

- 隣接する6市のごみ排出状況を比較すると、本市は「市民一人あたりの家庭系ごみの量」については、阪神7市の中で一番少ないことが特長です。
- 兵庫県下の自治体と比較しても、本市の家庭系ごみの量は令和3年度実績で2位となり、家庭で資源ごみの分別や排出抑制に努めていることがわかります。
- 事業系ごみは、その自治体区域内の事業者数が多い場合や経済活動が活発な場合に、量が多くなる傾向があります。なので、単純に他市との比較をすることが難しい指標です。